

アルミ合金製 CSD-L型作業台

組立説明書

このたびはCSD-L型作業台をお買い上げいただきましてありがとうございます。この手すりセットを安全に使っていただくために、注意事項をよくお読みいただき手順に従って組み立ててください。

※組立て前に、部品数量を確認してください。 **必要工具** M6用スパナ・M8用スパナ×2

危険 「死亡や重傷を負うおそれ大きい内容」です。

●設置するときや持ち運ぶときは、配電線に注意してください。

警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

- 組み立てる時はボルトを確実に固定してください。
- 使用前にはボルトのゆるみや抜け落ちを確認し、ある場合は締め直してください。
- 使用前に必ず点検し、異常のない事を確認してください。
- 手すりから身体を乗り出さないでください。
- 手すりへ寄りかかったり、足をのせたりしないでください。
- 手すりを押したり、引いたりしないでください。
- 適応機種以外に取り付けて使用しないでください。
- 加工・改造をしないでください。
- CSD-Lの取扱説明書もあわせてお読みください。
- 必ず手すりを付けて使用してください。

注意 「軽傷を負うことや財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

- 使用に適した服装で使用してください。
- 雨や直射日光があたらない場所に保管してください。

ALINCO アルインコ 株式会社

〒569-8510 大阪府高槻市三島江1-1-1

お客様相談室 ☎ 0120-302-669

10:00～16:00 ただし12:00～13:00及び土・日・祝を除く

※この組立説明書は無断転用を禁じます。

2017052-FS

部 品 表

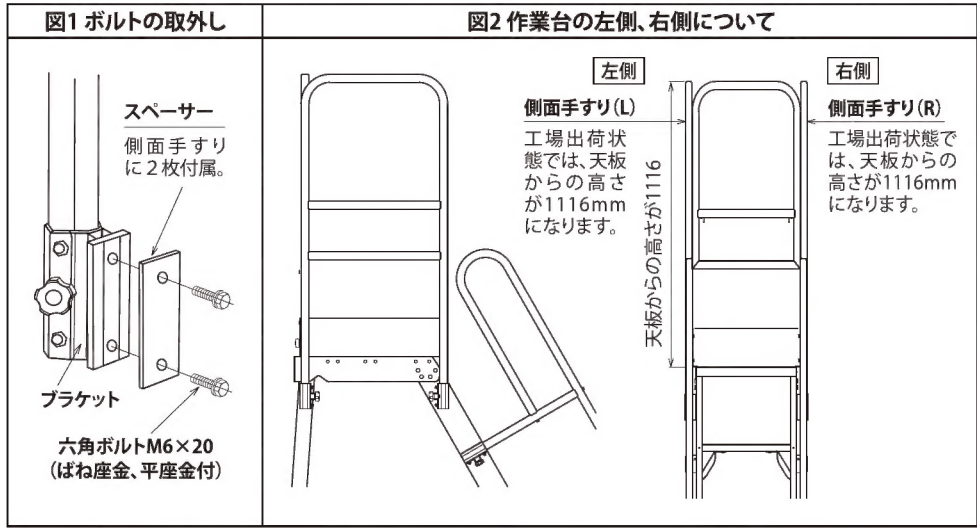
部品名称	品番	部品図	部品数量
昇降面組立	—		1
背面組立	—		1
ベース中折れツナギ	—		1
下部中折れツナギ	—		1
上部中折れツナギ	—		1
手すり	240用 CSDKT24 270用 CSDKT27 300用 CSDKT30 330用 CSDKT33 360用 CSDKT36		2
側面手すり(L)	CSDYTLH		1
側面手すり(R)	CSDYTRH		1
背面手すり	CSDHT		1
背面幅木	CSDHB		1
手すりブラケット	CSDY1BK		240,270,300 10 330,360 12
六角ボルト M6×20 (ばね座金、平座金付)	—		240,270,300 20 330,360 24
六角ボルト M8×25	—		40
ゆるみ止めナット M8	—		24
ばね座金 M8	—		16
平座金 M8	—		64

- ※1 側面手すり(L)、(R)に取り付けてあるブラケットには工場出荷時に六角ボルトM6×20(ばね座金、平座金付)が取り付けられています。下記の手順に従って、取り外して使用してください。
- ※2 側面手すり(L)、(R)、は作業台の天板からの高さ1116mm、916mmと、どちらかを選びいただけますが、出荷時には1116mmになるようブラケットが取り付けられています。916mmにする場合は下記の手順に従って変更してください。
- ※3 本製品にはゆるみ止めナットを使用しています。締める際には少々固く感じますがそのまま締め切ってください。

作業台本体取付けの準備について

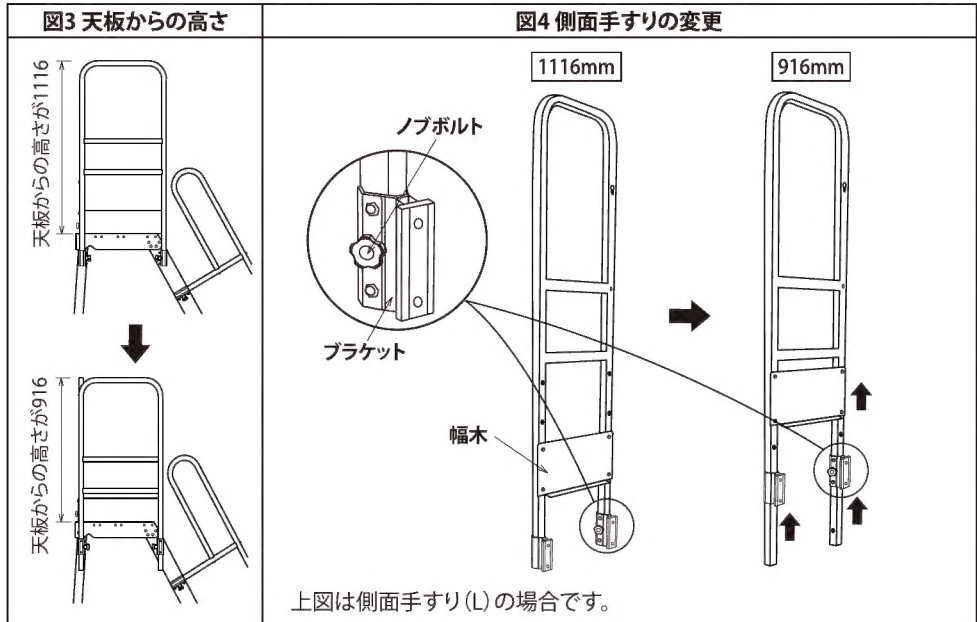
①ボルトの取外しについて(ブラケット付きの部品について 図1)

ブラケットから、六角ボルトM6×20(ばね座金、平座金付)を取り外してください。作業台本体への取り付けにはこのボルトを使用します。なお、側面手すり(L)、(R)にはスペーサーを2枚付属しております。同じく本体取り付けに使用しますのでご注意ください。



②側面手すり(L)、(R)の天板からの高さを、1116mmから916mmにするときについて

側面手すりはブラケットと幅木を取り外し、下図のように上に移動させて取り付けてください。ブラケットはノブボルトを回すと外れます。

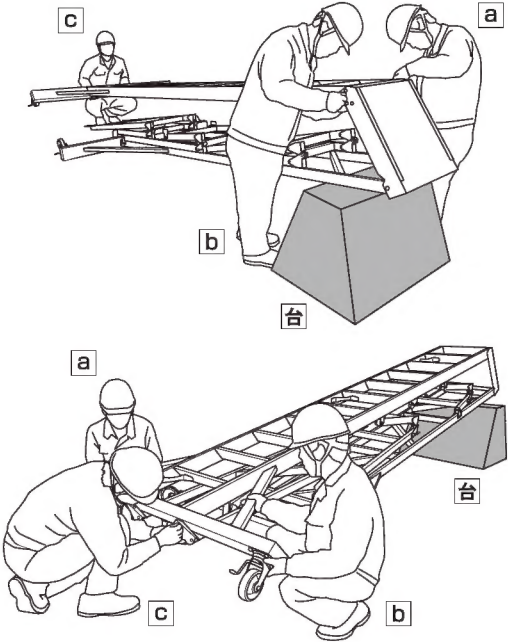


組立説明書

※必ず3人以上で行ってください。

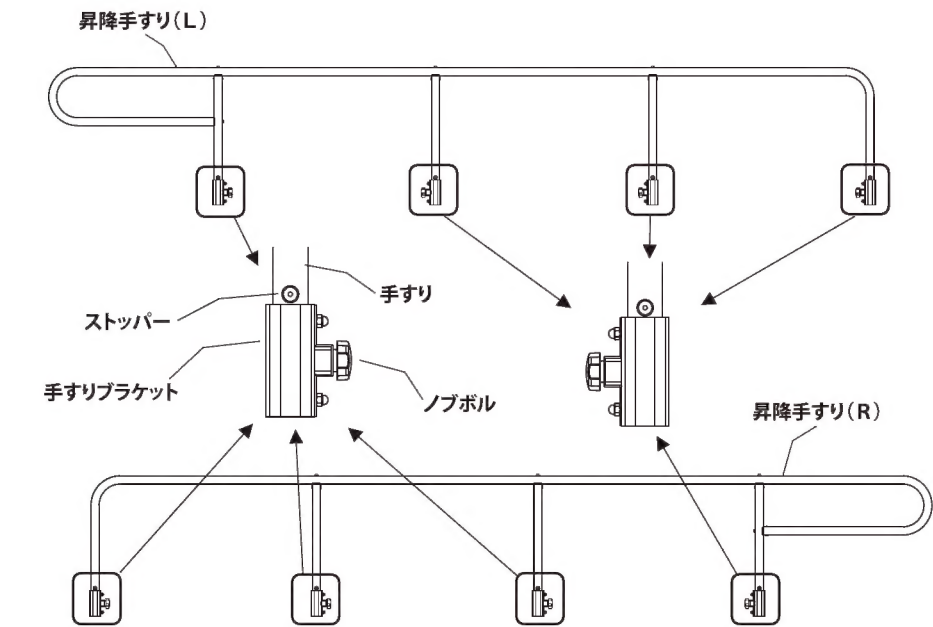


5. 作業者 c が昇降面ベースを持ち上げ、作業者 a b は昇降面を持ち支えながら支柱と天板を六角ボルト M8×25、平座金、ゆるみ止めナットで取り付けてください。

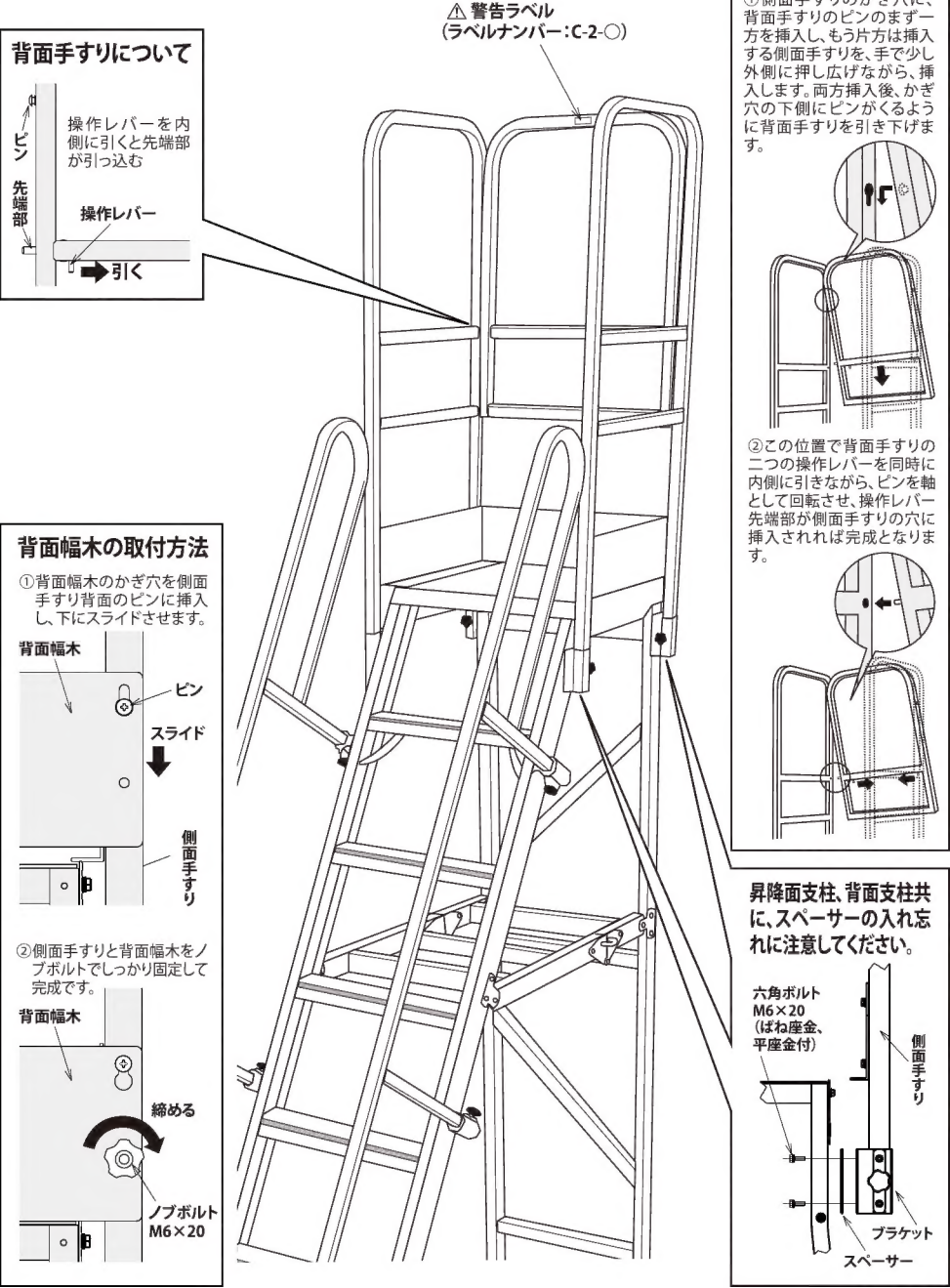


6. 作業者 a b が左右の昇降面支柱を持ち支えてください。作業者 c がベース中折れツナギを昇降側ベースへ六角ボルト M8×25、ばね座金、平座金で取り付けてください。続いて、作業者 c が昇降面ベースを持ち支え、作業者 a b が下部中折れツナギ、上部中折れツナギの順に六角ボルト M8×25、平座金、ゆるみ止めナットで昇降面支柱へ取り付けてください。

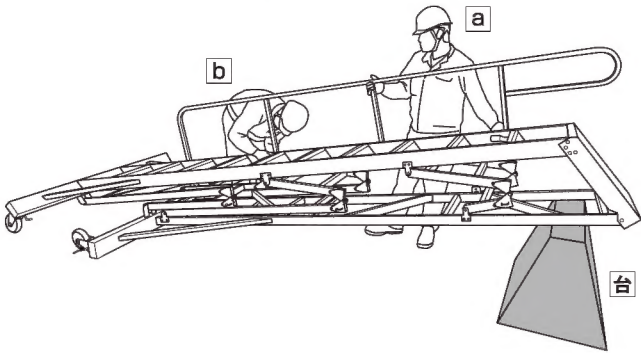
7. 昇降手すりへ手すりブラケットのノブボルトが図の方向になるように取り付けてください。取り付けはノブボルトが止まるまで引き抜き、手すりブラケットがストッパーに当たるまで差し込み、ノブボルトを締めて固定してください。



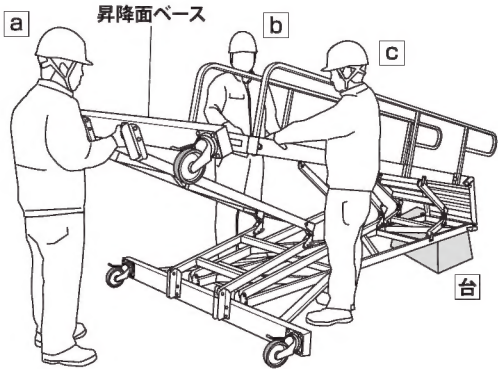
11. 下図を参照し側面手すり(L)、(R)、背面手すり、背面幅木を取り付けてください。(説明の為、作業台が起きている絵となっていますが、ここまでの流れのとおり寝かした状態で取り付けてください。)



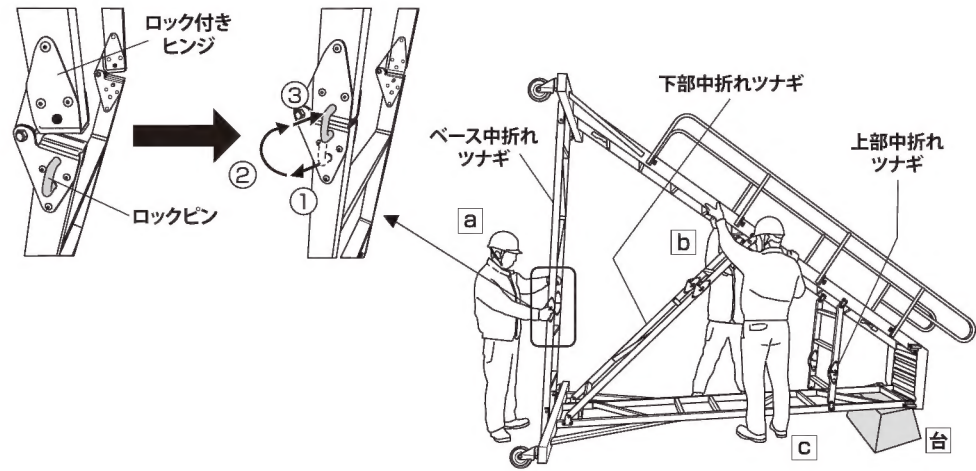
8. 作業者 a は手すりを持ち支え、作業者 b が六角ボルト M6×20 (ばね座金、平座金付) で昇降面の支柱へ手すりブラケットを取り付けてください。



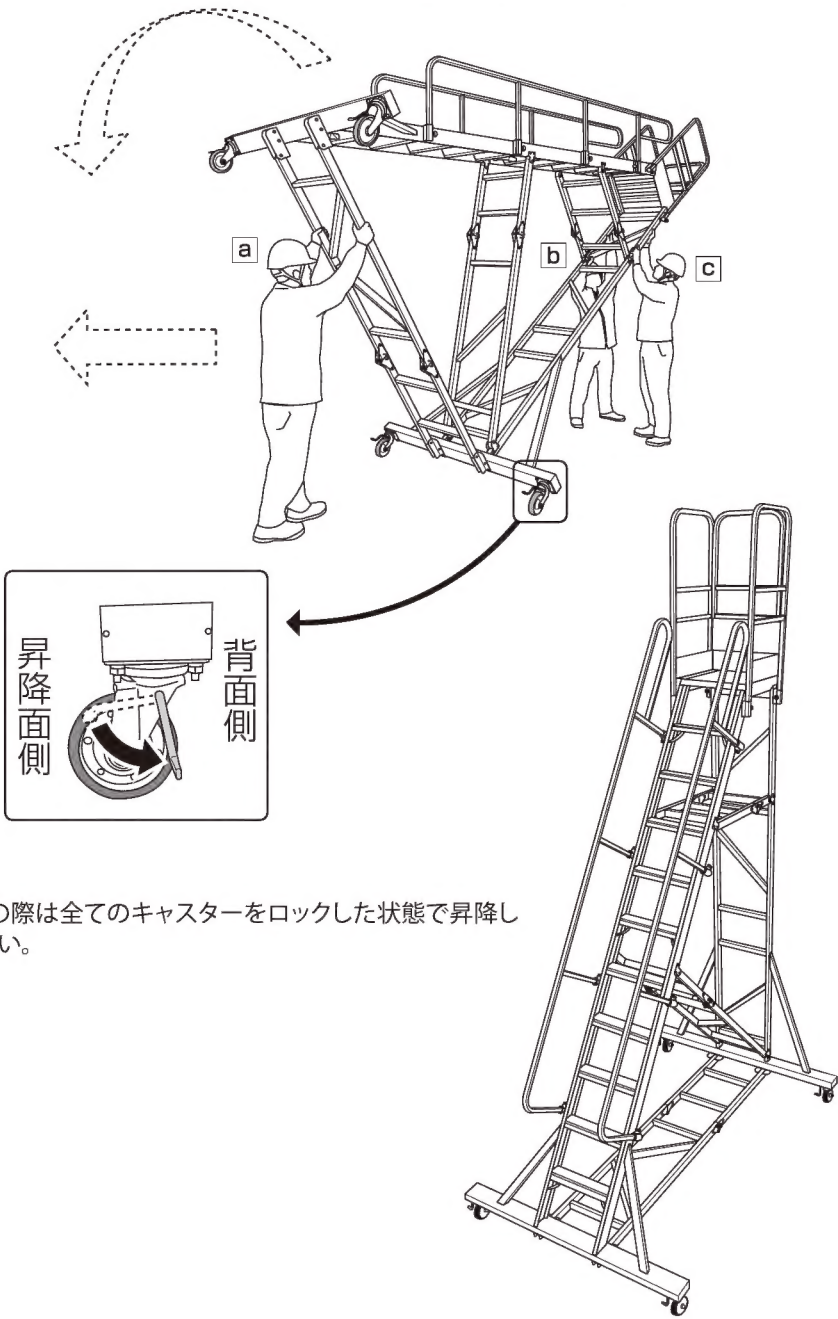
9. 作業者 a が昇降面ベースを持ち上げ、作業者 b c が昇降面の支柱をそれぞれ持ち上げます。



10. 作業者 b c が中折れツナギが直線になるまでさらに支柱を持ち上げます。作業者 a はベース中折れツナギ、下部中折れツナギ、上部中折れツナギの順に、ロックピンを①引き抜き②回転③差し込みの順に操作し、ロック付ヒンジを固定してください。



12. 全てのキャスターのロックをかけてください。(自在キャスターの向きは下図を参照してください。) 作業者 b c が左右の背面支柱をそれぞれ持ち上げて作業台をおこし、作業者 a はベース中折れツナギを持ち支えながら後ろへ下がり、ベース中折れツナギから昇降面ベースへ持ち替えて、ゆっくりと昇降面側のキャスターを着地させてください。



13. ご使用の際は全てのキャスターをロックした状態で昇降してください。